

# 家庭に代わる 子供たちのお家



児童養護施設「岡崎平和学園」  
施設長  
上川 清玄 氏

## 教育随想



平成 28 年 12 月 1 日

# 12 月号

発行・編集  
岡崎市教育委員会

### 今月の紙面

教育随想……………	1
児童養護施設「岡崎平和学園」 施設長 上川 清玄氏	
この人に聞く……………	2
NPO 法人中部狩踊会代表 日浅 一氏	
羅 針 盤……………	2
六ツ美中学校長 杉田 吉男	
ふれあい……………	3
六ツ美北部小 鈴木 隆	
特 集……………	4
生き物の生命を感じる子供たち	
お知らせ……………	6
フォト・ヒストリー…	8
ブラジル総領事来校 (平成 9 年)	
この本を……………	8

「岡崎平和学園は学校なのですか。」  
「児童養護施設は養護学校とは違う  
のですか。」  
こうした質問を、着任した八年前  
には、初対面の方からいただくこと  
が多かったです。しかし、平成二十三  
年一月から、いわゆるタイガーマスク  
現象がマスコミに取り上げられ、社会  
的な話題にもなり、児童養護施設の  
養育の内容の認知度が随分高まっ  
てきました。岡崎平和学園の認知度は  
未だ高いものではありませんが、  
徐々に市民の皆様からの御支援の輪  
が広がっています。

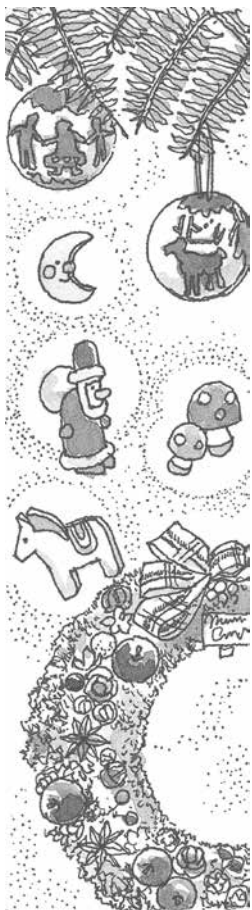
さて、社会問題化している児童虐待  
問題は、市内においてもその件数が  
年々増加しています。その中に  
は、学校からの通報件数も含まれて  
います。児童相談センターで保護され  
た子供の多くが児童養護施設に措置  
されます。児童養護施設では、この  
他にも、保護者のいない児童や環境  
上養護を要する児童(原則として二歳  
〜十八歳)を養育します。こうした  
仕組みは、社会的養護と云い、子供  
の権利擁護を図るためのものです。  
つまり、家庭に代わる環境を公的責任  
において保障されている施設です。

岡崎平和学園は、現在入所している  
五十七名の子供たちにとって、「家庭  
に代わる、子供たちのお家」なのです。  
しかし、「ここへ来たくて来た子  
は一人もいない」のが現実です。入所  
したその日からいつまでの間と期限  
が決まっているわけではありません。  
この三月に社会に巣立っていった高校  
三年生が四人いましたが、短い子で  
六年間、中には四歳から高校卒業ま  
での十四年以上の歳月を学園で生活  
し、この地を故郷とし、学園が在所  
となります。

ここに想いを馳せることが職員  
の大切な仕事の第一歩です。そして、  
「いらぬ子は一人もいない」をしっ  
かり胸に刻み、子供一人一人の自己  
肯定感の回復を図るのが、職員に  
とって次の一歩となります。

これらとともに大切にしているのは、  
「安全・安心な学園生活の保障」です。  
そのために生活に寄り添い、希望を  
引き出し応援するシステム「安全委員  
会方式」を導入しました。外部委員  
に前愛知教育大学教授、子供が通う  
竜美丘小学校、竜海中学校の両校長  
先生、児童相談所の育成課長、地域  
の主任児童委員さん等に入っていた  
だいています。学期に二回のペー  
スで委員会を開催し、御助言をいた  
だくと共に各関係機関と連携を密に  
し、風通しの良い施設運営を目指し  
ています。

私たちの仕事は次世代の養成で  
す。子供たちに寄り添いながら、そ  
れでも「ならぬものはならぬ」のだ  
と叱咤激励します。今日の実践が子供  
たちの未来につながることを信じて。  
(かみかわ せいげん)





## 命をいただく

NPO法人中部狩猟会代表

日浅 一 氏

日浅氏が建てたログハウスに一步入ると、壁に掛けられたイノシシの毛皮が、目に飛び込んでくる。九十キロ超とのこと。その隣には、シカの角付きの毛皮。日浅氏の腕前のほ

どが感じられる。「二十歳過ぎに、当時勤めていた工場の先輩から狩猟に誘われたのが、きっかけです。はじめは、興味本位でした。」狩猟を繰り返すうちに、狩猟をする者の心得を学び考えが変わっていった。それが日浅氏の思いの原点となっている。

「狩猟は、スポーツやレジャーではなく人類誕生以来のなりわいです。だから、まびくだけ。必要な分だけ

狩る。おなかの大きな雌イノシシや子供のイノシシを狩らずに決して根絶やしにしてはならない。狩猟のプロは、こうなのです。」

温暖化や開発の影響で、野生鳥獣の個体数や生息する場所に変化が見られ、十五年ほど前から、農作物への被害は深刻さを増してきた。

「何とかならないか、と近隣の農家から相談を受けました。銃の扱いに慣れない農家の人には、狩猟を薦めることはできませんでした。暴発や事故など、危険性が高すぎます。」

そこで、日浅氏が考案したのが、鉄格子を使った捕獲方法である。そこには、日浅氏の命に対する思いの強さも感じられる。

「人間は、野生鳥獣の命をいただいで、生きてきたのです。だからこそ捕獲した命を粗末にせず、きちんと活かさなければなりません。」

イノシシを銃で撃つと、血抜きが十分にされず、肉においが残る。しかし、鉄格子での捕獲ならば急所を一突きすることで、苦しまずに逝かせることができる。その上、十分に血抜きができ食用狩猟肉(ジビエ)として活用できる。

六年前、自分たちでイノシシを解体する施設「三州マタギ小屋」を作り始めた。ここでは、イノシシの血抜きをした後に、食肉加工をする。近年

では、ソーセージ作りも行っている。「イノシシ肉の配合率にこだわりました。九十五%です。本物をおいしく食べてもらいたいですから。」

ソーセージはホットドッグとなり、市内の道の駅やイベント会場などで販売されている。

「ソーセージに混ぜるものも、手をかけて自然のものを育てます。それが、イノシシの命を本物として、いただくことになると思うからです。」

近年、日浅氏に賛同する若者が、共に活動するようになってきた。

「僕らに続く若い人にも、命をいただくという気持ちを大事にしてほしいです。そして、いい環境を残し、仕事を続けていけるようにするのが私の努めです。」

日浅氏の目は、次世代を、未来を見据えている。



氏名 ひあさ はじめ  
生年月日 昭和二十年九月十六日  
住所 岡崎市夏山町

# 羅針盤

## 教師として

### 大切にしたいこと

六ツ美中学校長

杉田 吉男

教職に就いて三十六年目を迎えた。この間、教育を取り巻く環境はずいぶんと変わってきた。教育にも「流行」があり、それに対応することも大切である。しかし、もっと大切にしたいのは、教員のあり方の「不易」の部分だと強く感じる。その「不易とは何か」と問われると明確に答えられるかどうか不安であるが、私が大切にしてきたことがいくつかある。

その一つは、「期限を守る」こと。恥ずかしい話ではあるが、初めて中学校三年生の担任をさせてもらったとき、高校に提出する調査書が期限までに用意できなかったことがある。そのとき、当時の学年主任の先生に「二人が遅れるとみんなに迷惑がかかる。チームの輪を乱すな」「子供に



## みんなのために

六ツ美北部小 鈴木 隆

春休み最後の日のことだった。高学年の子供たちが、その自覚と責任を感じながら、始業式や入学式の準備のために登校した。

体育館周辺の清掃担当になった、四月から五年生になるA男は、中庭にある丸太のベンチに腰を掛けて、手持ち無沙汰な様子だった。周りの子供たちのきびきびとした動きからかけ離れたその姿が、目に留まった。清掃指導に当たっていた私は、「どうした。なぜみんなと同じように掃除をしないんだ。担当の場所は。」と矢継ぎ早に質問をした。すると、「はあ。別に俺がやらなくたっていいじゃん。面倒くさいし。」とその場から離れていこうとする。これがA男との出会いであり、私は心配しながら準備を終えた。

A男の担任となった私は、彼の様子

が気になっていたが、始業式で出会った彼の屈託のない笑顔に安心をした。しかし、A男との日々は平坦なものではなかった。漢字やりコーダーの練習を行えば、集中力が続かない。できないと思ったことは、自分に言い訳するような言葉でごまかしてしまい、最後には決めゼリふのように「面倒くさいし。」

と言って放り出してしまおう。ただ、A男から何度となく繰り返される「面倒くさい」を聞くうちに、彼が多くのことに自信をもてず苦しんでいることを感じた。できない自分を見せたくない、という思いが人一倍強い子なのだ。なんとか自信をもたせてやりたい。

A男が自信をもつてできることは何だろうと考えたとき、国語の学習で使用する辞典を運ぶ手伝いをしてくれたことを思い出した。高学年ならば、そのくらいのは当然だろうと考えていた私は、彼にしつかりとしたねぎらいの言葉を掛けてやらなかったことに気付き、はっとした。そのときのA男は「面倒くさい」とは言わなかった。人の役に立つことに喜びを感じて、自信をもつて動くことができていたのだ。

A男を呼んでそのことを話すと、「そういうのは俺、結構得意なんだ。」と話してくれた。そこで本棚の整頓

や電気の消灯、教具の準備や片付けなど、みんなのためになる仕事は積極的にA男に頼むことにした。「ちょっと面倒だけど、いいよ。」

と言いつつ、笑顔で仕事をするA男に、学級の子供たちからも、「A男、いつもありがとう。」

と声がかかることが増えていった。

放送委員になったA男が、昼の校内放送のアナウンスを担当した日のことだった。誰よりも早く放送室の鍵を取りに行つて、放送準備を行い、全校児童に向けて、堂々とアナウンスを行うことができた。

「A男、放送うまかったじゃん。」

放送を終えて教室に戻った彼に、学級の子どもたちが明るく声を掛ける。照れくさそうに、にこっと笑ったその横顔は、人の役に立つことの喜びと、人に認められる喜び、そして、自分に対する自信に満ちていた。



は提出期限を守れと言っているのに、教員が守れないのでは、子供を指導する資格がない」と、別室で厳しく指導されたことがある。自分の甘さを実感したことを、今でも鮮明に覚えている。

二つ目は、「子供を動かしたかったら、まず教師が動く」こと。私がまだ二十代だったとき、子供に運動場に集合するように指示を出した。子供が動き出したにもかかわらず、私は少し遅れて集合場所に向かった。運動場での子供の状態はというと、まさに烏合の衆という感じであった。その後、同僚の先生に、「教師が最初に動かないでどうする」と指導された。それ以後、子供を動かしたいときは、必ず子供が集合するより先に自分が前に立つようにした。すると何も言わなくても、きちんと整列できることが多くなった。

まだ他にも、「教材は自分の足で探せ」「校内に落ちている小さなゴミを見逃すな」など、多くのことを先輩の先生から指導していただいた。それらは、当たり前のことばかりかもしれない。しかし、分かっているのも事実である。教師一人一人が、学校生活の中で大切にしたいことを、しっかりともっているようにしたい。



# 生き物の生命を感じる子供たち



▲ チョウの卵を観察



▲ チョウランドを作ろう (小豆坂小)



▲ ニワトリとなかよし (井田小)

科

観察した  
と増え  
年児童】

カの心臓  
した。く  
びっくり  
中でもメ  
るんだと  
年児童】

力を卵から育て、羽化やふ化の瞬間で、生命の神秘を感じたり、小さな命があると実感したりできる。

## 飼育活動

### と連携して飼育する

の音  
うれた  
ったま  
しゃん  
った  
児童】



▲ 飼っているウサギでふれあい教室 (福岡小)

自然環境や社会環境の変化により、現代の子供たちが自然や生命と関わり合う機会は乏しくなっている。しかし、学校では生き物を通して生命の大切さを学ぶ機会が多くある。

例えば、生活科や理科では、小動物や昆虫、魚などを飼育・観察することが、学習指導要領の内容として掲げられており、子供たちは、生き物への親しみをもったり、生命の連続性を実感したりすることができる。

総合的な学習の時間においても、様々な教科・領域と関連付けて生き物を飼育したり、地域の特徴を生かして保護活動を行ったりする学校もある。

また、学校の飼育小屋での飼育活動を、獣医師や地域の方と連携して実践するなど工夫することによって子供たちに生命について学ぶ大切な機会としている学校もある。

子供たちが生き物と共に過ごすことは、生命の尊さを実感したり優しい心を育んだりするうえで、大きな意味がある。学校で生き物とふれあう経験を通して、自他の生命を大切にしようとする子供が育つことを願う。

具獣医師会 開業部会  
交動物飼育支援委員  
部築浩一郎 氏

ンザや動物アレルギーなど、健康被害を心配する声を聞きま  
手洗いや消毒をしっかりとる、  
ム手袋や長靴を装着するなど、  
学習できるいい機会だと思い  
も、学校で積極的に動物を飼  
慈しむ子供が育ってほしいと

### 地域の方の協力を得て育てる



▲ 牧場の子牛を地域の方と一緒に育てる (豊富小)

### 下級生に飼育方法を伝える



▲ 愛育委員会による集会 (井田小)

### 総合的な学習

### 地域の特色を飼育に生かす

幼虫は5mmから7mmまで成長するんだよ。吸盤みたいなのが手にくっついていてかわいかったよ。成虫になって、卵を産んだよ。次の3年生に渡せるからうれしいな。

【3年児童】



▲ ヤマユガを育てる (形埜小)



▲ 水田でアイガモを育てる (山中小)

### 社会科と関連を回り、アイガモと共に米を育てる

アイガモを抱くと、心臓がドクドク波打っている音が手に伝わって、かわいいです。アイガモ農法中に、死んでしまった仲間がいるから、大切に世話をしたいです。

【5年児童】



▲ メダカの卵の採取



▲ 顕微鏡でメダカの卵を観察 (六ツ美北部小)

### 理科

チョウの卵を育てよう。チョウがもたらいいなあ。

【3年児童】

卵の中でメダカが動いていました。回って回って回りました。卵の中はメダカは生きています。思いました。

【5年児童】

チョウやメダカに立ち合うこと、生き物にも大切なこと。

# 生命の大切さを学ぶ

## 生活科



▶ ザリガニとなかよし (三島小)  
▶ ザリガニとの別れ



ザリガニが死んじゃって悲しいよ。ザリガニが脱皮のとき、がんばっていたから、ぼくもいろいろがんばるよ。

【2年児童】

生き物を飼育すると、死に直面することもある。大切に育ててきた生き物の死は、大きな悲しみをもたらす。しかし、その経験は、命はかけがえのないものだ実感することにつながる。生き物の生と死は生命の大切さを伝え、子供たちの優しい心を育む。



▲ 東公園の飼育員にモルモットの飼育方法について教わる (根石小)



▲ スズムシの体や動きの観察 (本宿小)

### 獣医師

ウサギの心臓が聞けてとても嬉しいです。速かったのでびっくりしました。ウサギの赤ちゃんの姿がかわいかったです。

【2年児童】

### 愛知県小学校

鳥インフルエンザの子供たちへの健康です。しかし、手が必要に応じて正しい対処法をします。これから育て、動物を願っています。





### ● 教育最新情報

#### ◆ 第四十四回教育文化賞

本年度は、個人十一名、団体二十四名、合計三十五名の推薦申請があつた。選考委員による厳正な審査の結果、次のとおり、個人一件、団体一件が受賞した。

#### 〈個人〉

本多 八郎 氏

「お米づくり」を通じた学校教育への貢献

#### 〈団体〉

岡崎ゲンジボタル河合保存会

ゲンジボタルの保護・育成活動の推進

#### ○ 授賞式 記念講演

本年度の教育文化賞授賞式と記念講演は、十一月十二日(土)に岡崎市総合学習センター大ホールで行われた。

授賞式後、「四季の会・秋」研修会も兼ね、バレーボール指導者の南部正司氏より「世界で活躍できる人づくりチームづくり」と題して、御

講演をいただいた。

多くの教員が南部氏の講演を聞き、研修を深めることができた。

### ● 表彰

#### ◆ 第66回西三河中学校駅伝競走大会 (県大会出場)

#### ○ 男子

優勝 岩津中学校 A

二位 竜海中学校 A

三位 六ツ美中学校 A

#### ○ 女子

優勝 岩津中学校 A

二位 甲山中学校

#### ◆ ジュニアオリンピック陸上競技大会

○ 男子クラス C1000m

八位 竜海中 山下侑牙

○ 女子クラス C1000m

優勝 竜海中 土居心愛

○ 女子クラス A1000m

七位 城北中 高須鮎香

○ 女子 ABCクラス 共通

4×100mリレー (県代表)

五位 竜海中 土居心愛

甲山中 永井絵理香

谷口琴音

城北中 高須鮎香

○ 女子クラス B2000m

八位 甲山中 永井絵理香

◆ 愛知県中学校カヌー大会新人戦

○ 男女総合

準優勝 新香山中

○ 女子総合

優勝 新香山中

○ 男子総合

準優勝 新香山中

○ K-2 (カヤック2人)

優勝 新香山中 折田直生

○ WK-2 (女子カヤック2人)

優勝 新香山中 古川真衣

○ WK-4 (女子カヤック4人)

優勝 新香山中 倉橋志帆

○ WK-4 (女子カヤック4人)

優勝 新香山中 城戸雪乃

○ C-1 (カナディアン1人)

優勝 新香山中 今村葉音

○ C-2 (カナディアン2人組)

優勝 新香山中 古川真衣

○ C-1 (カナディアン1人)

優勝 新香山中 前田拓海

○ C-2 (カナディアン2人組)

優勝 新香山中 釘宮 舜

○ C-2 (カナディアン2人組)

二位 新香山中 井原峻太

○ K-4 (カヤック4人組)

三位 新香山中 折田直生

○ K-4 (カヤック4人組)

市川龍之介

栗田海青

鎌田 響

#### ◆ 日本管楽合奏コンテスト全国大会

○ 中学校 A部門

優秀賞 六ツ美中学校

○ 中学校 B部門

優秀賞 北中学校

#### ◆ 日本学校合奏コンクール2016 全国大会ソロ&アンサンブルコンテスト

金賞 矢作北中 寺尾優美花

銅賞 福岡中 半田 風

○ アンサンブル部門

金賞 北中学校

銀賞 福岡中学校 B

銅賞 竜海中学校 A

竜海中学校 B

竜海中学校 C

矢作北中学校

銅賞

銅賞

#### ◆ CBCこども音楽コンクール 中部日本決勝大会

○ 管楽合奏部門

優秀賞 (二位) 北中学校

優良賞 竜海中学校

○ 合奏第一部門

優秀賞 城北中学校

優秀賞

福岡中学校

優良賞 竜海中学校

優良賞

竜海中学校

優良賞

竜海中学校

優良賞

竜海中学校

○ 小学校管楽合奏部門

最優秀賞 (最高賞) 全国審査進出

竜美丘小学校

#### ○ 小学校合唱部門

優秀賞 (三位) 矢作東小学校

優良賞 梅園小学校

根石小学校

矢作南小学校

#### ◆ 日本学生科学賞

最優秀賞 (愛知県知事賞)

北中 内田桜綾

最優秀賞 (愛知県教育委員会賞)

東海中 山崎萌恵

最優秀賞 (名古屋科学館賞)

北中 内田悠雅

最優秀賞 (読売新聞社賞)

新香山中 佐久間香帆

#### ◆ 社会を明るくする運動作文コンテスト

愛知県更生保護女性連盟会長賞

東海中 佐野陽菜

#### ◆ 岡崎市制100周年記念食育ポスターコンクール

岡崎市食育推進会議

最優秀賞 緑丘小 真杉優羽

#### ◆ FBC学校花壇コンクール 《付帯事業》

○ 東山植物園学校花壇設計図コンクール (春)

名古屋市長賞 形埜小学校

○ 東山植物園学校花壇設計図コンクール (秋)

東山植物園賞 形埜小学校

○ 学校花壇設計図コンクール

私たちの学校花壇を描いた

絵コンクール

愛知県知事賞

形埜小 竹内真緒

形埜小 竹内真緒

形埜小 竹内真緒

形埜小 竹内真緒

形埜小 竹内真緒

形埜小 竹内真緒

- ◆統計グラフ全国コンクール
  - パソコン統計グラフの部
    - 佳作 河合中 内田結稀
    - 河合中 近藤 萌
    - 河合中 畔柳愛海
- ◆市村アイデア賞
  - 佳作 新香山中 大井柊輝
- ◆全国ラジオ体操コンクール
  - 文部科学大臣賞 大門小
- ◆愛知県中学生技術・家庭科創造ものづくりフェア創造アイデアロボットコンテスト
  - 活用部門
    - 優賞(東海・北陸大会出場) 常磐中 深田脩斗
    - 二位 常磐中 安藤志真
    - 基礎部門
      - 三位(東海・北陸大会出場) 常磐中 山口優器
      - 四位(東海・北陸大会出場) 常磐中 中村滲里
      - 五位(東海・北陸大会出場) 常磐中 梅村聖磨
- ◆愛知県防火作品展
  - 五年習字の部
    - 準特選 男川小 富田涼花
    - 六年習字の部
      - 準特選 大樹寺小 矢代幸穂
      - 五年ポスターの部
        - 入選 柴田真希
- ◆愛知県少年消防クラブ運営指導協議会表彰
  - 特に優良な少年消防クラブ 大門小学校
  - 優良な少年消防クラブ 下山小学校

第49回 岡崎市中学校新人総合体育大会

種目	性	優勝	第2位	第3位
		陸上競技	男子 六ツ美北 六ツ美 女子 六ツ美北 六ツ美	竜海 矢作
バスケットボール	男子 葵 女子 六ツ美北 六ツ美	六ツ美北 葵	北 岩津南	翔南 矢作北
バレーボール	男子 矢作 女子 矢作北	甲山 南	常磐 新香山	矢作北 北
ソフトテニス	男子 矢作 女子 矢作北	常磐 六ツ美北	矢作北 甲山	竜海 竜南
卓球	男子 常磐 女子 北	東海 葵	竜海 矢作北	甲山 翔南
新体操	女子	碧南市立南中	碧南市立新川中	東海

種目	性	優勝	第2位	第3位
		剣道	男子 額田 女子 矢作北	矢作 六ツ美北
ハンドボール	男子 葵 女子 美川	竜南 藤原立高	六ツ美 新香山	北 翔南
軟式野球	男子 美川 女子 矢作北	六ツ美 甲山	六ツ美 矢作北	翔南 北
ソフトボール	男子 矢作 女子 矢作	竜南 矢作北	甲山 北	矢作北 北
柔道	男子 矢作 女子 矢作	甲山 北	南 葵	新香山 北
サッカー	男(女)	甲山	北	葵 新香山
弓道	男子 幸田北部A 女子 額田A	幸田南部A 幸田A	幸田A 幸田D	幸田A 幸田D
水泳	男子 矢作 女子 矢作	翔南 竜海	竜海 甲山	竜海 甲山

個人競技(1位記録のみ)

水泳

種目	男子			女子		
	氏名	学校	記録	氏名	学校	記録
50m自由形	段下賢治郎	六ツ美	28"52	牧原 歩美	竜海	30"42
100m自由形	酒井 祥大	翔南	59"56	鈴木 日菜	北	1'05"17
200m自由形	太田 聖那	矢作	2'20"08	田中 南那	矢作	2'30"21
50m平泳ぎ	二ノ宮綾人	福岡	35"22	小倉 由愛	北	38"94
100m平泳ぎ	成瀬 叶来	新香山	1'12"14	岸原さくら	城北	*1'18"05
50mバタフライ	石川 蒼土	矢作	30"49	今村 晶	北	30"78
100mバタフライ	仲平 千尋	六ツ美北	1'00"93	與五澤美希	葵	1'06"67
50m背泳ぎ	築山 稜平	翔南	*31"17	山本帆乃佳	葵	34"40
100m背泳ぎ	飯海 修斗	竜海	1'06"96	片山 京香	甲山	1'12"71
200m個人メドレー	築山 幸石	矢作	2'33"71	岩村 夏佳	六ツ美北	*2'31"87
400m R	萩原 矢澤	翔南	4'11"50	久世 牧原	竜海	4'32"36
400mメドレーリレー	酒井 築山 酒井 矢澤	翔南	4'35"22	大山 小倉 今村 鈴木	北	5'04"08

\*印は大会新記録 タイは大会タイ記録

陸上

性	種目	氏名		学校	記録
		男子	女子		
男	100m	筒井 健人		福岡	11"4
	200m	松井 佑樹		葵	25"0
	400m	間谷友貴	矢作北		58"7
	800m	片山 宗哉	城北		2'09"3
	2年1500m	永田 将也	甲山		4'30"3
	3000m	小林 亮太	竜海		9'21"8
	110mH	山本 将平	六ツ美北		17"1
	4×100m R	加藤②・青木② 畔柳②・筒井②	福岡		47"8
	走幅跳	岩田 晃輝	矢作北		5m88
	走高跳	清水 源樹	六ツ美北		1m65
女	砲丸投	藤本 悟瑠	岩津		9m36
	棒高跳	松嶋 愛太	六ツ美北		3m10
	100m	土居 心愛	竜海		13"2
	200m	谷口 琴音	甲山		27"9
	800m	小山 愛結	六ツ美北		2'24"7
	1500m	渡辺 萌梨	六ツ美北		4'58"2
	100mH	森川日菜歩	美川		17"0
	4×100m R	高木②・澤田① 齋藤①・岡田②	矢作		53"5
	走幅跳	桑畑 杏音	矢作北		4m87
	走高跳	野村 美咲	福岡		1m40
砲丸投	鈴木 陽乃	翔南		9m09	

\*印は大会新記録

柔道

男子	氏名	学校	女子	氏名	学校
軽中級	高橋瑠希弥	矢作北	軽中級	野村 莉音	城北
中量級	竹本 友成	常磐	中量級	川崎 想空	城北
重量級	山本 悠人	愛産大三			

第55回 岡崎市小学校陸上競技大会

- 〈総合成績〉 男子 優勝 矢作南小学校 2位 六美西部小学校 3位 井田小学校  
 女子 優勝 大門小学校 2位 六美北部小学校 3位 梅園小学校

種目	男子			女子		
	氏名	学校	記録	氏名	学校	記録
100m	石川陽ノ介	竜谷	13"0	土居 幸愛	六名	*13"1
5年100m	内村 颯人	六ツ美西部	14"3	林 美希	岡崎	14"4
80mH	牧野 祐大	六ツ美西部	12"9	城山あずさ	大門	*12"9
1000m	早川 恭介	恵田	3'06"9	谷口 晴菜	細川	*3'11"6

種目	氏名	学校	記録	備考
女子100m	藤井 鈴奈	小豆坂	*13"3	決勝2位
女子100m	北田野々花	大門	*13"4	決勝3位
女子80mH	片江 舞衣	細川	タイ13"2	決勝2位

※上記の者は、1位ではありませんが、大会新記録(\*印)またはタイ記録を達成した児童

種目	男子			女子		
	氏名	学校	記録	氏名	学校	記録
400m R	高橋 久野 奥 瀧村	矢作南	53"5	安藤 北田 清水 城山	大門	56"2
走幅跳	小野澤ナシリ	岩津	4m42	清水 花帆	大門	4m21
走高跳	土屋 快斗	井田	*1m38	鈴木 菜美	六ツ美北部	*1m33
ソフトボール投	宮田 清光	城南	74m22	高久良亜子	六ツ美北部	51m60

\*印は大会新記録(ただし、走高跳については新ルール適用のため本年度の記録が新記録扱い)

・カ  
ツ  
ト  
本宿小 高木理人

## ブラジル総領事来校 (平成9年)

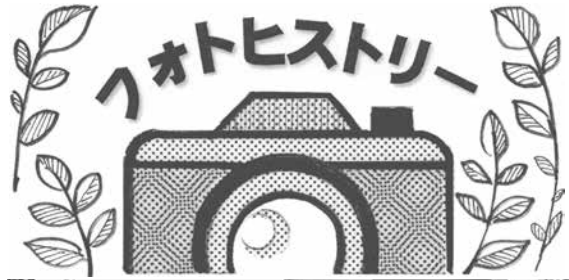
写真提供：城南小学校

城南小学校の日本語教育は平成五年度から始まり、七年度には当時文部省の研究指定を受けた。国際理解教育の研究が本格化するとともに、八年度にはサンパウロの学校と交流校の提携を結んだ。

写真は翌年十二月、当時のブラジル総領事が、三十名以上の同国籍児の様子を見るため、来校したときのものである。

現在同校は、多文化共生やキャリア教育の視点から、城南CITYカーニバルの取り組みを中心に、児童の自己有用感を育む研究をしている。

現在、城南小学校だけでなく、日本語教育を必要としている児童は、市内に多く在籍する。今年度より、各校において、個別の指導計画を作成し、一人一人に適した日本語教育が工夫して行われている。



友達のために自分ができることをしよう。人の役に立つことに、人は喜びを感じる。「ありがとう」と言われたことで、自己肯定感を得て、勇気をもって新たな一歩を踏み出せる。たくさんの「ありがとう」が交わされる教室、学校でありたい。

頬を生き物の胸や背中に当てると、体温を感じ、母親に抱かれたような安らかな気持ちになれる。また、生き物が懸命に生きる姿を見て、その小さな生命を守らなければ、と思う。

子供たちも学校の生き物も、互いに健やかに育つことを願う。

# とホ

# 師走



(サンタがやって来た 北中)

蕙つたのからまる狩猟檻おとりに入る獣がいる。彼らに、人間社会の邪魔をするつもりはない。環境の変化によって、餌場えさばを変えざるを得ない状況にあるのだ。

だからこそ、その身を残さずいただく。生命に対して深い敬意を払う姿勢がそこにある。



\*バリア バリュー 新潮社

垣内 俊哉  
¥1,200

### 心に残った一文

その先に、「歩けないから」できる  
こともあると、新たな光を見たのです。

著者は生まれつき、骨が弱くて折れやすい病と共に生きてきた。ずっと車椅子に乗り、高さ106センチの世界で生きているからこそ、他の人とは違う視点で物事を見られるのではないか。それを生かせば、ほかにはないビジネスを創造できるかもしれない。そう考え、学生時代に会社を立ち上げた。

誰しも自分の弱みを克服したいと思うもの。障がいを取り除くという「バリアフリー」から、障がいを価値に変えるという「バリアバリュー」の発想が本書には満載で、勇気づけられる。

\* 1日36万円のかばん持ち ダイヤモンド社

小山 昇  
¥1,500

\* 企画は、ひと言

石田 章洋

日本能率協会マネジメントセンター ¥1,400  
\* 日本一心を揺るがす新聞の社説3 水谷もりひと  
ごま書房新社 ¥1,250

北野小 上野 正幸